**無料Webサービスを見極めよう**

無

料Webサービスを選択するための見極めポイントを自己流だが紹介する。私の場合、広告の出方以外に、以下を注目した。

1. **トップページのURLアドレス**
2. **転送などの手間**
   1. **FTP**
   2. **パーミッション設定**
3. **サブディレクトリ作成の有無**

①は、ユーザーがどのようなURLを持つことになるのかということ。ここからは、ジオシティーズを例に挙げて説明しよう。ジオシティーズは、サイト全体を「街」に見たて、その中をさらに「コミュニティ」に分類するという運営態勢をとっている。このコミュニティ内では、さらに個人個人に「番地」が割り当てられ、その番地までを一括りにしたURLが個人に割り当てられるURLとなる（http://www.geocities.co.jp/コミュニティ名/番地/）。私のようにURLは短いほうが良いと思っている（覚えやすいし覚えてもらいやすい）者にとって、この長さには抵抗を感じた（この方式を決して非難するわけではないのであしからず）。なお、ジオシティーズのようにユニークな運営態勢を取っている企業に限らず、URLは、会員人数が多い大手になるほど長くなる傾向があるということを覚えておいていただきたい。

②は、作成したHTMLコンテンツやイメージファイルをどうやってサーバーに転送するかという手段。一般的にはFTPツールを使っての転送を採用しているところが多い。FTPツールを使えても、サービス会社によってファイルを転送するだけしかできないなど、プットはできてもゲットができないなど制限付きのところもあるので要注意。FTPツールを使えないところは、ブラウザアップロードを採用している場合が多い。これは、ブラウザ上から、自分のコンピューターのハードディスク内を参照し、1つ1つアップロードしていくという方式だ。この方式は、少数のコンテンツしか扱っていない場合は良いが、大量なファイルを一気に転送したい場合は不便となる。ちなみに、ジオシティ－ズはこの両方とも採用しており、ブラウザアップロードにおいては、複数ファイルの参照を可能にしているため、よっぽど大量のファイルを扱わない限り、わざわざFTPツールを使わなくても十分といえる。なお、この2つの転送方式に加え、ファイルマネージャというツールも用意されている。これは、サーバー上のファイルを参照し、削除したり内容を確認したりできるというツール。HTMLソースを直接修正するなど、新規に作成できることもできるため、更新履歴といったちょっとした修正に便利。

③は、与えられたサーバースペースにサブディレクトリを作成できるかということで、ジオシティーズはこれをサポートしている。これが採用されていない場合、ルートにHTMLファイル、イメージファイルといった異なったファイルがすべて集約されることとなる。つまり、ファイルが大量に存在する場合に、イメージファイルとHTMLファイルを分けて管理したいならサブディレクトリが作成できないと不便である。サイト管理に影響を及ぼすのでしっかりチェックしておきたい（サブディレクトリは作成できないが、画像を管理するための［Image］フォルダがあらかじめ用意されている会社もある）。